

学校だより



戸塚小だより

川口市立戸塚小学校
令和6年12月2日
電話048(295)1810
児童数 681名

笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来へはばたけ戸塚っ子



「扱える」こと ～IT・DX化に思う～

校長 林 奈緒美

かれこれ十数年、慢性化した蕁麻疹に悩まされています。全身の腫れとかゆみが一段とひどくなり、学校が休みの平日を待って、朝一番に病院へ駆け込みました。案の定、受付開始前の病院には長蛇の列ができていました。朝早くに出かけても、いつも診察の順番が回ってくるのは午後。私の場合、診察は5分とかかりません。事前予約はできないため、病院の待ち時間で1日が消えてしまうのがつらいです。ところが、皮膚科受診は前日からのWEB受付による完全予約制に変わっていました。なるほど、完全予約ができれば、1日を無駄にすることはない、良い方法である…とは思いますが、しかし、今日しかない私は、今日の空きに頼るしかありません。私同様、受付変更を知らずにいた方々が、皮膚科の窓口前列を成し、受診できないのかを尋ねていました。その大半はご年配の方々でした。職員の方とのやりとりが聞こえます。

「受付は前日からのWEBに変わりました。アプリをダウンロードして下さい。」

「そういうのはできません…。どうしたら…。」

「では、また後日、今日のように朝から並んで下さい。その日に空きがあれば受け付けますが、空きがあるか、それが何時になるかは分かりません。電話受付はしていません。」

特にコロナ禍以降、社会がICT・デジタル化へと急スピードで変化しているのを実感します。セルフレジにキャッシュレス、ポイントカードはアプリへ。あらゆる登録・確認はスマホで行われるようになりました。人件費等のコストを削減し、より速く簡単に効率よく物事を進めていくための、時代ニーズに合わせた変革。でも、スマホを持っていること・扱えることが前提の仕組みには、なんだかややもやしてしまいます。(少数の?)人にとってはかえって困る、優しくない変化のようで。アナログな私は、取り残されぬよう「扱える人」になるしかないのですが、この便利な道具を巧みに利用した心無い犯罪の報道を聞くたびに、憤りと情けなさを感じます。「扱える」には「操作できること」のみでなく、「適切に正しく使える」ことがあるはずです。犯罪、人を傷つけることに使うなんて!

学校で子供たちに与えられるようになった端末は学びの手段。「文房具のように扱える」ことが大切と、持ち帰りも推奨されています。しかし、筆箱の中に必要な鉛筆を揃えられなければ、きちんと鉛筆を削っていなければ、それを使うことはできません。自身の文房具をそろえ管理することに意識を持たない状況で端末を同じように扱ってしまったら、紛失・破損は避けられませんし、果たして「扱える」ことに向かえるのか疑問が生じます。操作だけではない、大切に管理できることも大事な「扱える」です。

今の時代の子供たち、スマホもネットも当たり前。それらに馴染み操作する力は、すぐに自然に身につけていくでしょう。では、正しく適切に扱えるようになるには…。情報・端末使用のモラルに限らず、規範意識と責任感、優しさの確かな基盤が必要だと思います。